

小松教育事務所管内 タウンミーティング

ともに育もう豊かな心を in 南加賀
—いじめを見逃さない学校・家庭・地域づくり—



平成25年9月28日「いじめ防止対策推進法」が施行されました。
いじめの問題に関しては、学校での取組はもちろんですが、家庭や地域社会での理解と協力が必要であり、それぞれが連携して取り組んでいく必要があります。
そこで、今回は、学校・家庭・地域づくりについてともに考える機会としたいと思い、上記のテーマでタウンミーティングを開催致しました。

.....当日のプログラム.....

◇ 開会挨拶 9:30~9:35

石川県教育委員会小松教育事務所長 崎山 由樹夫

◇ 報 告 9:35~9:45

「いじめ問題の現状とその対応」

石川県教育委員会小松教育事務所指導主事 荒木 達人



◇ 実践発表 9:45~10:05

「いじめ問題に対する組織的対応について」

加賀市立山代小学校 河端 恵子 教諭

◇ パネルディスカッション 10:15~11:15

「子どもたちが安心して学び育つことができる環境とは」

コーディネーター

原田 克巳 (金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授)

パネラー

- 元山 洋 (石川県いじめ対応アドバイザー)
- 田中 堂子 (小松市立学校PTA 連合会母親委員長)
- 北市 康德 (加賀市立山代中学校教諭)
- 荒木 達人 (石川県教育委員会小松教育事務所指導主事)

◇ 講 演 11:20~11:50

「いじめにかかわる子ども達の心理」

金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授 原田 克巳 氏

◇ 意見交換・閉会 11:50~12:00

1 1月2日（土）午前、加賀市文化会館において、小松教育事務所管内の学校・家庭・地域の方々約200名が集い、実践報告やパネルディスカッション、講演を通して、いじめを見逃さない学校・家庭・地域づくりと連携のあり方についてともに考えました。

◇報告 **いじめ問題の現状とその対応**

小松教育事務所 荒木 達人指導主事

- 1 「いじめ問題」の現状
- 2 いじめ防止対策推進法
- 3 「いじめ問題」への学校の対応

について報告し、学校と家庭、地域が連携して取り組んで行くことの重要性をお話いたしました。



◇実践発表

いじめ問題に対する組織的対応について

加賀市立山代小学校 河端 恵子教諭

「つながりづくり」と「山代ルール」をキーワードに未然防止への取組、「チーム山代」を合言葉に学校全体で組織的に未然防止・早期発見・早期対応にあたっている実践を報告していただきました。

◇パネルディスカッション

「子どもたちが安心して学び育つことができる環境とは」

金沢大学准教授 原田克巳氏をコーディネーターに、4名のパネリストが、学校・家庭・地域・教育行政がそれぞれの立場で何ができるのか、どのように連携を深めていけるのかについてともに考えました。会場の参加者の方からも意見をいただき、協議を深めることができました。



◇講演 **「いじめにかかわる子ども達の心理」**

金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授 原田 克巳氏

子どもたちの心理を被害者・加害者・傍観者の立場それぞれについてお話していただきました。「いじめは笑いに隠されやすい」という言葉など、まわりにいる大人が敏感な目を持つこと、ちょっと視点を変えた子どもの見方の必要性を感じさせられ、振り返るべきことを示唆していただくお話でした。



★参加者からの意見・感想

○親として、子どもとの信頼関係、健全な心を育てるよう日々コミュニケーションをとりたいと思った。居心地の良い環境づくりにも、楽しみながら頑張りたい。
(保護者)

○パネルディスカッションでは、三者(学校・地域・家庭)の視点がはつきりしており、問題が整理されたと思います。
(教諭)

○PTA役員の立場からつながりの場に一人でも保護者の方が参加しやすいような環境を作っていきたいと思いました。
(保護者)

○「つながり」がキーワードだと感じました。学校・保護者・地域はもちろん、子ども同士・教員同士・子どもと教員間のつながりを深め、「顔の見える関係づくり」を心がけたいです。
(教諭)